

令和4年度 高知県居宅介護支援事業所介護支援専門員に関する実態調査結果

【①介護支援専門員に関する実態調査】

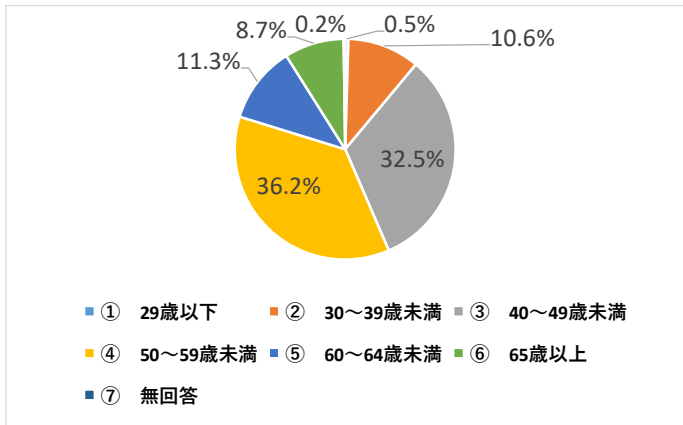
調査基準日：令和4年6月1日

送付数：266 事業所

回収数：169事業所（回収率：63.5%） * 回答のあった介護支援専門員総数 425名

(1) 年齢層

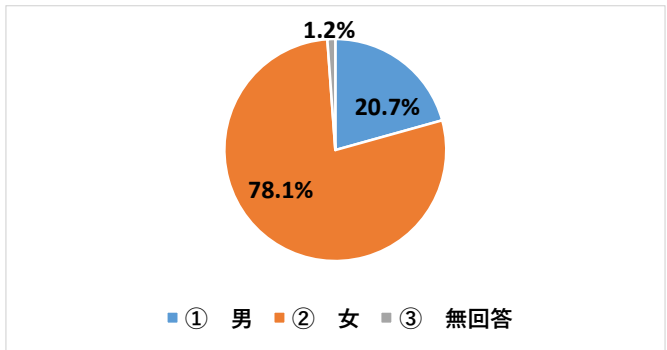
	人数	割合
① 29歳以下	2	0.5%
② 30～39歳未満	45	10.6%
③ 40～49歳未満	138	32.5%
④ 50～59歳未満	154	36.2%
⑤ 60～64歳未満	48	11.3%
⑥ 65歳以上	37	8.7%
⑦ 無回答	1	0.2%
計	425	100.0%



・50歳以上のケアマネが約56%と半数以上を占めており、60歳以上が20%と高齢化が見られる。
 ・受験資格の規定で定められた資格や相談業務に5年以上従事する必要もあるが、29歳以下が0.5%、30歳代は約1割と少ない。

(2) 性別

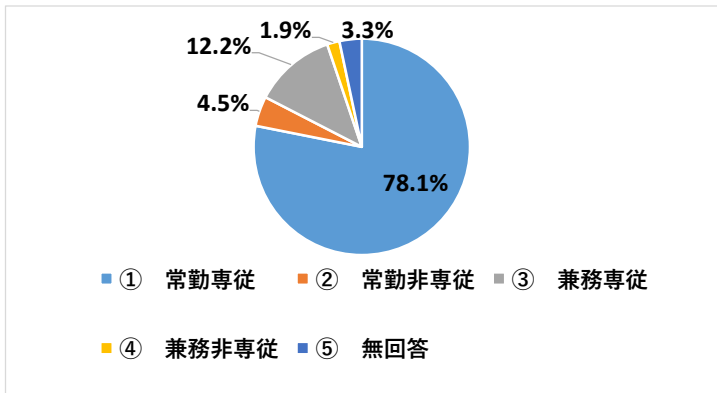
	人	割合
① 男	88	20.7%
② 女	332	78.1%
③ 無回答	5	1.2%
計	425	100.0%



女性が約8割を占めている。

(3) 勤務形態

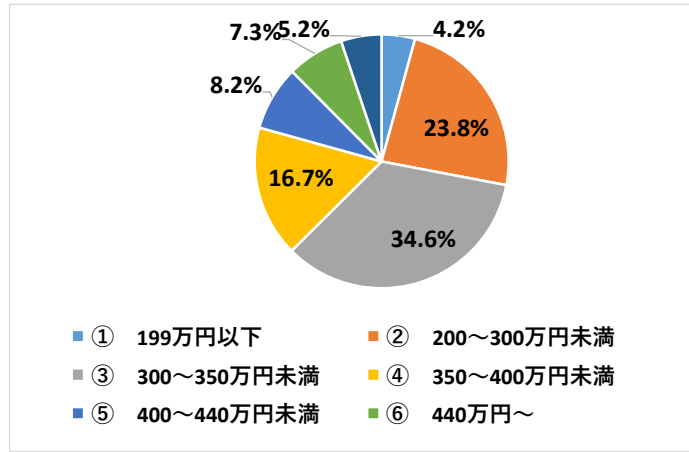
	人	割合
① 常勤専従	332	78.1%
② 常勤非専従	19	4.5%
③ 兼務専従	52	12.2%
④ 兼務非専従	8	1.9%
⑤ 無回答	14	3.3%
計	425	100.0%



常勤専従が約8割となっており、次いで兼務専従が多くなっている。非専従での勤務形態は少ない。

(4) 処遇

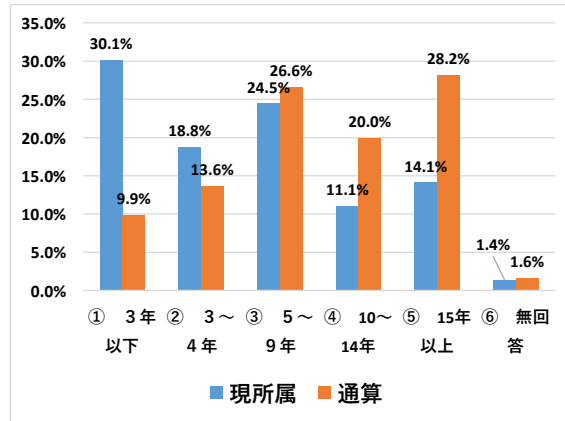
	人	割合
① 199万円以下	18	4.2%
② 200～300万円未満	101	23.8%
③ 300～350万円未満	147	34.6%
④ 350～400万円未満	71	16.7%
⑤ 400～440万円未満	35	8.2%
⑥ 440万円～	31	7.3%
⑦ 無回答	22	5.2%
計	425	100%



300～350万円が約35%と最も多く次いで200～300万円が約24%となっている。400万円以上は約15%となっている。常勤専従のみで見ても数値はほぼ同様である

(5) 実務年数

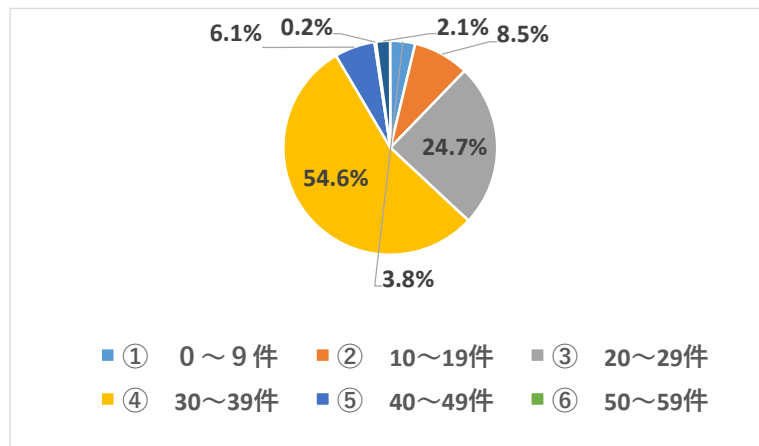
	現所属		通算	
	人	割合	人	割合
① 3年以下	128	30.1%	42	9.9%
② 3～4年	80	18.8%	58	13.6%
③ 5～9年	104	24.5%	113	26.6%
④ 10～14年	47	11.1%	85	20.0%
⑤ 15年以上	60	14.1%	120	28.2%
⑥ 無回答	6	1.4%	7	1.6%
計	425	100%	425	100%



5年以上の実務経験があるケアマネが多い一方、現事業所の所属は3年以下の割合が高くなっている。10年以上の勤務年数のある者のうち現所属での勤務は約半数。他の事業所で勤務したことがある割合が高いといえる。

(6) 担当件数

	人	割合
① 0～9件	16	3.8%
② 10～19件	36	8.5%
③ 20～29件	105	24.7%
④ 30～39件	232	54.6%
⑤ 40～49件	26	6.1%
⑥ 50～59件	1	0.2%
⑦ 無回答	9	2.1%
計	425	100.0%

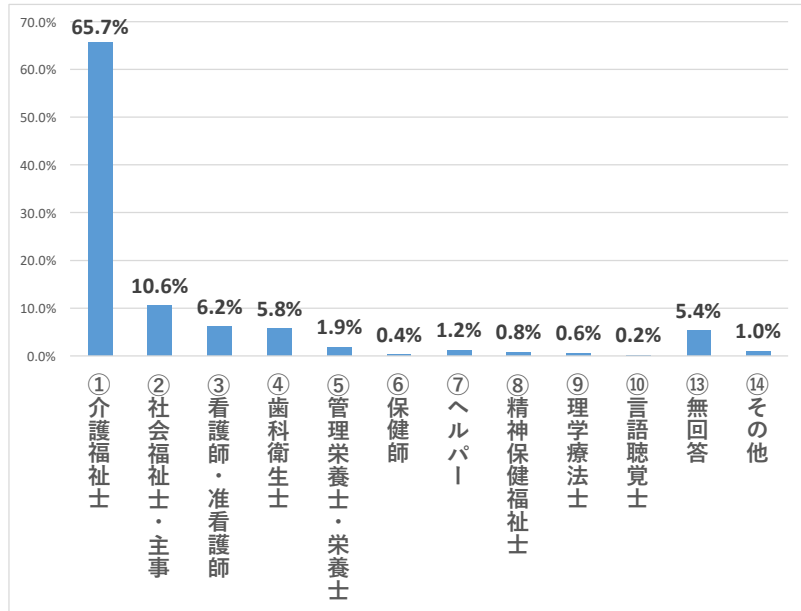


担当件数は30～39件が約55%となっており、減算となる40件を目安に担当しているケアマネが多いと考えられる。また、20～29件が約25%を占めている。

・（介護予防については、1/2換算）

(7) 資格

	人	割合
①介護福祉士	316	65.7%
②社会福祉士・主事	51	10.6%
③看護師・准看護師	30	6.2%
④歯科衛生士	28	5.8%
⑤管理栄養士・栄養士	9	1.9%
⑥保健師	2	0.4%
⑦ヘルパー	6	1.2%
⑧精神保健福祉士	4	0.8%
⑨理学療法士	3	0.6%
⑩言語聴覚士	1	0.2%
⑬無回答	26	5.4%
⑭その他	5	1.0%
計	481	100.0%



- ・保有資格としては、介護系の資格が主となっており、その中でも介護福祉士が最も多い。(65.7%)
- ・医療系の資格としては、看護師が最も多くなっている。